

日本植生史学会ニュースレター

No.9 November 15, 2006

第21回日本植生史大会のご案内最終報, 植生史研究特別第2号販売のお知らせ, 会員動向

第21回日本植生史学会大会のご案内(最終報)

- ◆期日 2006年11月25日(土)-26日(日)
- ◆会場 東京大学本郷キャンパス内 (〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)
法文2号館3大教室(公開シンポジウム・一般研究発表)
法文1号館114・115号室(ポスター発表)
- ◆日程 11月25日(土) 09:00-12:30 幹事会・評議員会
12:00- 受付開始
13:00-17:10 公開シンポジウム
17:10-17:40 第4回奨励賞授与及び記念講演
18:00-20:00 20周年祝賀会
11月26日(日) 09:00 受付開始
09:30-11:25 一般研究発表
11:25-13:00 総会・昼食
13:00-14:30 ポスター発表
14:35-16:30 一般研究発表
16:30 閉会
- ◆大会参加費・祝賀会費 大会参加費 2,000円 祝賀会費 6,000円(学生会員 4,000円)
(祝賀会費には記念品代が含まれます)

◆会場案内

<最寄り駅>

本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線), 湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線), 東大前駅(地下鉄南北線)から徒歩10分

<お茶の水駅(JR中央線、総武線)から>

地下鉄丸の内線(池袋行)一本郷三丁目駅下車

地下鉄千代田線(取手方面行)湯島駅又は根津駅下車

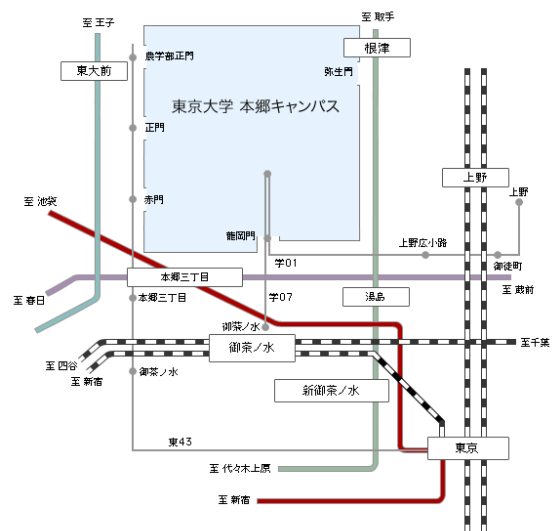
都バス 茶51 駒込駅, 王子駅又は東43 荒川土手行一東大(赤門前, 正門前, 農学部前バス停)下車, 学バス01 東大構内行

<御徒町駅(JR山の手線)から>

都バス 都02 大塚駅行一湯島四丁目下車

<上野駅(JR山の手線、JR中央線他)から>

学バス07 東大構内行・東大構内下車



◆ 大会プログラム

第1日目 11月25日(土)

公開シンポジウム『人類時代の植生史研究と考古植物学—旧石器から江戸へ—』

趣旨

今年は日本植生史学会創設から10年、植生史研究会創設から20年の節目にあたり、植生史研究談話会から数えると24年目にあたる。地球科学や考古学、植物学などを専門とする研究者がともに遺跡をはじめとする現場に入って、堆積物や出土遺物、出土遺構を目の前にして、いろいろと議論を重ねながら過去の環境変遷史と人類の関わりを多様な角度から読みとるといった試みが本格化したのは、1980年代の関東平野の遺跡発掘現場であった。本シンポジウムでは、こうして展開されてきた植生史研究のこの4半世紀の歩みを振り返り、関東平野を中心とした環境変遷史と植生史研究の最新の成果を、旧石器時代から江戸時代という広い時間枠のなかで紹介する。また今後の植生史研究の方向性について展望する。

- 13:00-13:05 開会挨拶・趣旨説明 谷川章雄(早稲田大学)
13:05-13:20 招待講演 植物学と植生史学 大場秀章(東京大学)
13:20-14:10 S-1 日本の植生史と人の活動史 一到達点・課題・展望— 辻 誠一郎(東京大学)
14:10-14:20 休憩
14:20-15:10 S-2 日本人と樹木 つきあいの歴史 —考古植物学的アプローチ— 鈴木三男(東北大学植物園)
15:10-16:00 S-3 遺跡発見の植物と木工技術からみた人と森の関係史 山田昌久(首都大学東京)
16:00-16:10 休憩
16:10-17:10 総合討論 司会:谷川章雄・樋泉岳二(早稲田大学)
17:10-17:40 第4回奨励賞授与及び記念講演
18:00-20:00 20周年記念祝賀会 会場:第2食堂(各地の銘酒の差し入れ歓迎いたします)

第2日目 11月26日(日)

09:00 受付開始 法文1号館114号室前

09:30-11:25 一般研究発表(口頭) 法文1号館3大教室

A「生態、古生態と環境変動」

- 09:30-09:45 A-1 狭山丘陵の下部更新統上総層群谷ツ粘土層から発見されたDavidiaの内果皮化石 福嶋徹(武蔵村山市議会)・百原 新(千葉大・園芸)
09:45-10:00 A-2 岐阜県上石津の東海層群で見られる前期更新世の花粉群の変遷 大井信夫(ONP研究所)・百原 新(千葉大・園芸)・田端英雄(応用里山研究所)
10:00-10:15 A-3 オオシラビソを含む長野県北部岩岳湖成層の後期更新世約3万年前の古植生 鈴木孝治(千葉大・院)・百原 新(千葉大・園芸)・守田益宗(岡山理科大)・苅谷愛彦(千葉大)
10:15-10:30 A-4 白老海岸平野の形成過程と植生変遷(1) 鈴木 茂(パレオ・ラボ)・鈴木正章(道都大学)・遠藤邦彦(日本大学)・中村賢太郎(パレオ・ラボ)・千葉 崇(日本大学)
10:30-10:45 A-5 幕末から室町後期における京都の神社林の植生 小椋純一(京都精華大)

10:45-10:55 休憩

C「分類・系統、生物地理」

- 10:55-11:10 C-1 備北層群産ヒシ科化石とアスナロビシ属(*Hemitrapa*)の比較研究 塚腰 実・岡本素治(大阪市立自然史博物館)
- 11:10-11:25 C-2 クリの分布変遷における人の関与を遺伝的構造から検証する 田中孝尚(東北大植物園)・山本俊哉(果樹研究所)・能城修一(森林総研)・鈴木三男(東北大植物園)
- 11:25-13:00 総会(法文2号館3大教室)・昼食
- 13:00-14:30 一般研究発表(ポスター) 法文1号館114・115号室
- PA-1 岐阜県上石津の東海層群でみられる前期更新世の大型植物化石相の変遷 百原 新(千葉大・園芸)・大井信夫(ONP研究所)・田端英雄(応用里山研究所)
- PA-2 古琵琶湖層群・更新統畑層の植物化石群集の解析 南澤 修・松本みどり(千葉大・理・地球)・百原 新(千葉大・園芸)・山川千代美(琵琶湖博物館)
- PA-3 藤岡市南部の更新世末期の植物化石群集 田中義文・高橋 敦(パリオ・サーヴェイ(株)・井上 勉(藤岡市教育委員会)
- PA-4 千葉県館山市付近の植生変遷 鈴木 茂(パレオ・ラボ)・遠藤邦彦(日本大)・大里重人((株)土質リサーチ)・石綿しげ子(基礎地盤コンサルタンツ)・久保 崇(日本大)
- PA-5 大阪湾夢洲沖ボーリングの花粉分析に基づく過去約1万年間の植生変遷 北川陽一郎・吉川周作(大阪市大)・高原 光(京都府大院・農)
- PA-6 後氷期の八甲田山におけるA/F, P/A比からみたオオシラビソ林の変遷 中村琢磨(横浜国大・院・環境情報)・高原 光(京都府大院・農)
- PA-7 愛知県、矢作川河床の埋没林 安昭炫(東京大・院)・辻 誠一郎(東京大)・木村勝彦・箱崎真隆(福島大)・中村俊夫(名古屋大)・佐々木由香(パレオ・ラボ)・辻 圭子(国立歴史民俗博物館)・森 泰通・松井孝宗(豊田市郷土資料館)・河合仁志(岡崎市教育委員会)
- PA-8 若齢コナラ林におけるコナラ花粉粒生産量 清永丈太(東京都)
- PA-9 カムチャッカ半島内陸部における表層堆積物中の花粉組成と周辺植生の関係 豊岡康広・高原 光(京都府大院・農)・竹原明秀(岩手大・人文社会)・池田重人(森林総研)・檀原 徹(京都フィッシュントラック)・Dirksen, O.(Inst. Volcanology and Seismology, RUS)・Klimin, M.(Inst. Water and Ecological Problem, RUS)
- PA-10 奈良県曾爾高原ススキ原の山焼きにおける炭の分布 井上 淳(大阪市大)
- PA-11 秋田スギの年輪幅を用いた東北北部における古気候復元 大山幹成(東北大植物園)・米延仁志(鳴教大)・半沢まどか・鈴木三男(東北大植物園)
- PA-12 青森ヒバの年輪気候学的研究 金子野吾(東北大院・生命)・大山幹成・鈴木三男(東北大植物園)
- PB-1 韓国, 葛梅里遺跡出土の3~4世紀の種実遺体群・花粉群と植物利用 野中理加・安昭炫・辻 誠一郎(東京大), 李 弘鐘・庄田真矢(高麗大)
- PB-2 縄文時代の復元磨製石斧を使用した木材伐採実験-伐採後の石斧に残される痕跡から読み取れること- 小林加奈(首都大・院)・磯部保衛(村上古代ランド)
- PB-3 東京都下宅部遺跡における縄文時代の土器附着植物遺存体の種類とその用途 佐々木由香(パレオ・ラボ)
- PB-4 東京都下宅部遺跡における遺構群の¹⁴C年代と縄文時代後半期の種実利用の変遷 工藤雄一郎(東京都立大・院)・佐々木由香(パレオ・ラボ)・小林謙一・坂本 稔(国立歴史民俗博物館)・松崎浩之(東大)
- PC-1 北海道産後期白亜紀のマンサク亜綱類似結実器官鉱化石の構造と類縁 西田治文(中央大・理工)

PC-2 縄文時代におけるウルシ花粉の産出状況 吉川昌伸(古代の森研究舎)

14:35-16:30 一般研究発表(口頭) 法文2号館3大教室

B「人と植物の関係史」

14:35-14:50 B-1 館山市沖ノ島遺跡から出土した縄文時代早期のアサ種子 小林真生子・百原 新(千葉大・園芸)・清永丈太(東京都建設局)・岡崎浩子(千葉県立中央博物館)・柳澤清一・岡本東三(千葉大)

14:50-15:05 B-2 青森県富の沢遺跡出土のヒエ属炭化種子の形態変異 住田雅和(国立歴史民俗博物館)

15:05-15:20 B-3 縄文時代の炭化クリ種子を用いた果実サイズの復元 吉川純子(古代の森研究舎)・荒川隆史(新潟県立歴史博物館)

15:20-15:35 B-4 東京都東村山市下宅部遺跡の出土木材からみた関東地方の縄文時代後・晩期の木材資源利用 能城修一(森林総研)・佐々木由香(パレオ・ラボ)

15:35-15:45 休憩

15:45-16:00 B-5 弥生時代における沖積平野居住者のスギ大径木利用構想 山田昌久(首都大)

16:00-16:15 B-6 貝層堆積過程の復元—貝塚出土試料におけるコンタミネーション— 遠部 慎・宮田佳樹・小林謙一(国立歴史民俗博物館)・植田弥生(パレオ・ラボ)

16:15-16:30 B-7 安定同位体を用いた弥生時代の食性研究 宮田佳樹(国立歴史民俗博物館)・米田 穰(東京大)・住田雅和・遠部 慎・小林謙一(国立歴史民俗博物館)・パレオ・ラボAMS年代測定グループ・扇崎 由(岡山市教育委員会)

16:30 閉会

植生史研究特別第2号販売のお知らせ

植生史研究特別第2号「三内丸山遺跡の生態系史」が大会前日に刊行されます。定価は3000円です。大会当日は割引販売をする予定です。

会員動向

(2006年10月30日現在)

名誉会員1名, 賛助会員1社, 一般会員358名(+2), 学生会員50名(+7), 団体会員6団体。

◆2006年7月-2006年10月分

新入会員 (一般)山崎 純男, 岡村 道雄, 宮田 佳樹, 須田 大樹

(学生)鈴木 孝治, 三浦 恵, 内田 和典, 安 昭炫, 小林 克也, 一木 絵理, 前田 亜希, 小林 加奈

退会会員 菅野宗武, 坂上寛一, 景守紀子

事務局: 千980-0862 仙台市青葉区川内12-2 東北大学植物園内 TEL022-795-6761 FAX 022-795-6766

庶務一般: main@hisbot.jp 会誌投稿: journal@hisbot.jp

編集・発行 日本植生史学会 広報・渉外幹事 佐々木由香 E-mail: main@hisbot.jp

学会 HP: <http://www.soc.nii.ac.jp/historbot>